NEC

ACCESS POINT

MW2201-B

ユーザーズマニュアル
（取扱説明書）

NWD−142377−001

注　意

ご使用の前に、必ずこのユーザーズマニュアルをよくお読みの上、
正しくお使いください。

リバースエンジニアリングに関する禁止事項

本製品のソフトウェアに対して、逆アセンブル、逆コンパイルなどのリバースエンジニアリングは禁止されています。

廃棄方法について

本製品を廃棄する時は、地方自治体の条例に従って処理してください。
詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

輸出に関する注意事項

日本国外へ持ち出す際には輸出該非判定書が必要となる場合がありますので、お買い求めの販売店経由で当社へお問い合わせください。本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、日本国外の規制等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

ご注意

1．本マニュアルの内容の一部、または全部を無断転載、複写、およびいかなる方法による複製も禁止します。
2．本マニュアルの内容に関し、予告なしに変更することがあります。
3．本マニュアルの内容は万全を期して作成しましたが、万一御不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店まで御連絡ください。
4．本製品を運用した結果の影響については、責任を負いかねますので御了承ください。
5．許可なく改造、変更を行った場合、動作の保証は致しかねます。
6．本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。
これらの設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、当社製品の故障により人身事故、火災事故、社会的な損害等が生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。
設備や機器、制御システムなどにおいては、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるよう御注意願います。
7．本マニュアルについて当社の許可なく複製・改変などを行うことができません。

版権
本マニュアルの版権は、日本電気株式会社およびＮＥＣマグナスコミュニケーションズ株式会社が所有します。

商標
本マニュアル中に記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

使用上の注意事項

本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。

使用している表示と図記号の意味は、次の通りです。内容をよく理解してから、マニュアルをお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害が想定される内容を示しています。

	誤った取扱いをすると、発火の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、感電の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、けがを負う可能性が想定されることを示しています。
	安全のため、製品の取扱いにおいてその行為を禁止することを示しています。
	安全のため、機器の分解を禁止することを示しています。
	安全のため、水場での機器の使用を禁止することを示しています。
	安全のため、製品の取扱いにおいてその行為を指示するものです。
	安全のため、電源アダプタを必ずコンセントから抜くように指示するものです。

＜電源＞

⚠警告

本製品を電源アダプタより給電して使用する場合は、ＡＣ１００Ｖ±１０Ｖ（５０／６０Ｈｚ）の電源以外では絶対に使用しないでください。

異なる電圧で使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。
また、半年から一年に一回は、電源アダプタを点検してください。点検に関してはお買い求めの販売店にご相談ください。

ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、コンセントに確実に差し込んでください。

電源アダプタの金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源アダプタをコンセントに抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

電源アダプタの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。

コンセントが過熱し、火災、感電の原因となることがあります。

電源アダプタおよび電源ケーブルを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。

電源アダプタおよび電源ケーブルの破損による火災、感電の原因となることがあります。

電源アダプタおよび電源ケーブルの上にものを載せないでください。

電源アダプタおよび電源ケーブルの破損による火災、感電の原因となることがあります。

本製品に接続する電源アダプタは、必ず弊社製MW２２０１－B－Ａｄ（型番CＶＹ１２１２C－SO４３４Z）をご使用ください。

上記以外の電源アダプタを使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

弊社製電源アダプタMW２２０１－B－Ａｄ（型番CＶＹ１２１２C－SO４３４Z）は、本製品以外で使用しないでください。

本製品以外で使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

電源アダプタをコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本製品に触れないでください。

感電の原因となることがあります。

⚠注意

電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源ケーブルのプラグを持って抜いてください。

電源ケーブルの損傷による火災、感電の原因となることがあります。

本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。また、本製品にＰｏＥ給電装置を接続しているときは、ＬＡＮケーブルを抜いてください。

本製品のＰｏＥ機能を用いる場合は、ＩＥＥＥ８０２．３ａｆ、ＩＥＥＥ８０２．３ａｔ準拠の給電装置をご使用ください。

＜保管および使用環境＞

⚠警告
 本製品の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など、液体の入った容器を置かないでください。 液体が本製品にこぼれたり、本製品の中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
 本製品をふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。 火災、感電、故障の原因となることがあります。
 本製品を屋根裏などほこりの多い場所に置かないでください。 火災、感電、故障の原因となることがあります。
 本製品は縦置きや重ね置きをしないでください。 縦置きや重ね置きをすると、本製品の内部に熱がこもり、火災、感電、故障の原因となることがあります。
 本製品を天井面／壁面に取り付け、または取り外しを行う場合は、安定した足場を確保し、安全に作業できるようにしてください。 高所作業の場合、転倒や落下などの恐れがあります。
 本製品を取り付ける天井面／壁面の強度が本製品の重量に十分対応できるかをあらかじめ確認してください。また、落下防止のため、ネジ止めは正しく行ってください。

本製品の取り付け完了後は、定期的に点検し、損傷の有無やネジをゆるみなどがないかを確認してください。また、ネジがゆるんでいる場合は、締めなおしてください。

⚠注意

本製品や電源アダプタ、電源ケーブルを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。

電源ケーブルの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。

本製品を油飛びや湯気があたるようなところ、ほこりの多い場所に置かないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

本製品を直射日光の当たるところや、温度の高いところ（４０℃を超える場所）に置かないでください。

本製品内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。

本製品の通風孔に布などをかぶせたり、ものを置かないでください。

本製品内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。

本製品を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。

落下により、けが、故障の原因となることがあります。

本製品を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。

落下により、けが、故障の原因となることがあります。

本製品の天井面／壁面への取り付けは、施工経験のある専門業者、またはお求めになった販売店にご依頼ください。

設置に不備があると、落下の原因となることがあります。

設置箇所の劣化、腐食には十分ご注意ください。劣化、腐食が見られる場合は、安全な場所に設置しなおすなどの対策を行ってください。

本製品をラジオやテレビなどのすぐそばで使用すると、ラジオやテレビなどに雑音が入ることがあります。また、強い磁界を発生する装置が近くにあると、逆に本製品に雑音が入ってくることがあります。このような場合は離してご使用ください。

本製品を塩化ビニールなどのプラスチック製品（例えば、滑り止めシートやテーブルクロスなど）に長時間接触させると、変形や変色の原因となることがありますので、ご注意ください。

＜禁止事項＞

⚠警告

本製品内部の点検、調整、清掃、修理は、危険ですから絶対にしないでください。

本製品の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となることがあります。本製品内部の点検、調整、清掃、修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

本製品の通風孔など、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。

本製品内部の分解・改造は絶対にしないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

本製品に水や液体などを入れて、本製品を濡らすことは絶対にしないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

本製品は人命に直接関わる医療機器や極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

医療機器やシステムに影響を与え、事故の原因となることがあります。

航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。

電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。

本製品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓のペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用しないでください。

電子機器や心臓のペースメーカーに誤作動を与えることがあります。

本製品を直接公衆回線に接続して使用しないでください。

本製品は電気通信事業法非対応のため、公衆回線に直接接続して使用することはできません。

⚠注意

本製品の上にものを載せたり、本製品に乗ったりしないでください。

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。破損等により、けがの原因となることがあります。

＜異常時およびトラブル＞

⚠警告

万一、本製品を落としたり、破損したりした場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて（ＰｏＥ給電装置を接続している場合は、ＬＡＮケーブルを抜いて）、お買い求めの販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

万一、本製品の内部に水などの液体が入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて（ＰｏＥ給電装置を接続している場合は、ＬＡＮケーブルを抜いて）、お買い求めの販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

万一、異物が本製品の内部に入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて（ＰｏＥ給電装置を接続している場合は、ＬＡＮケーブルを抜いて）、お買い求めの販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。

電源アダプタや電源ケーブルが傷んだときは、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
ＰｏＥ給電装置を接続している場合、ＬＡＮケーブルが傷んだときはすぐにＬＡＮケーブルを抜いて、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

万一、本製品から煙が出ていたり、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて（ＰｏＥ給電装置を接続している場合、ＬＡＮケーブルを抜いて）、煙が出なくなることを確認して、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

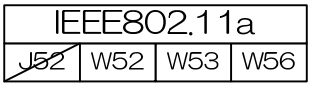
⚠注意
 落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタをコンセントから抜いてご使用をお控えください。 落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。
 雷が鳴っているときは、電源アダプタに触れたり、機器の接続をしたりしないでください。 感電の原因となることがあります。

＜お手入れ＞

⚠注意
 本製品のお手入れをする際は、安全のため必ずコンセントから電源アダプタ抜いてください。また、ＰｏＥ給電装置を接続している場合は、ＬＡＮケーブルを抜いてください。
ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、変形や変色の原因となることがあります。また、殺虫剤などをかけた場合も変形や変色の原因になることがありますので注意してください。

電波に関する注意事項

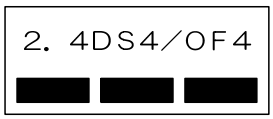
・本製品は、技術基準適合証明を受けています。
・本製品は IEEE802.11n（5GHz）および IEEE802.11a 通信では 5GHz 帯域の電波を使用しています。
・IEEE802.11n（5GHz）および IEEE802.11a で使用するチャネルは、36、40、44、48ch（W52）と 52、56、60、64ch（W53）および 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch（W56）です。



W52（5.2GHz 帯：36、40、44、48ch）
W53（5.3GHz 帯：52、56、60、64ch）
W56（5.6GHz 帯：100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

・W52（5.2GHz 帯）と W53（5.3GHz 帯）の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
・W53（5.3GHz 帯）または W56（5.6GHz 帯）を選択した場合は、法令により次のような制限があります。
（1）各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行うことができません。
（2）通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が遮断されることがあります。

・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。



2.4　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す。
DS／OF　：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す。
4　：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す。
■■■　：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

目次

ご注意 1
使用上の注意事項 2

目次 12

第1章 はじめに 15
1.1　マニュアルについて 15
1.2　製品の特長 15
1.3　装置の構成 16
第2章 操作部および表示部 17
2.1　MW2201－B　天面図、側面図 17
第3章 設置および接続の方法 19
3.1　設置手順 19
3.1.1　アンテナの取付方法 20
3.1.2　金属筐体取付方法 24
3.1.3　電源アダプタのプラグ接続 26
3.1.4　LANケーブルの接続 27
3.2　設置 28
3.2.1　環境条件 28
3.2.2　設置場所 28
3.2.3　設置方法 29
第4章 仕様 33
4.1　MW2201－B仕様 33
第5章 注意事項 35
5.1　電源の再投入について 35
5.2　装置の設置について 35
5.3　長期保管について 35
第6章 トラブルシューティング 36
6.1　表示ランプの状態によるチェックポイント 36
お問い合わせ先 37
ライセンスについて 38

第1章　はじめに

ユーザーズマニュアルの使い方と本製品の概要について説明します。ご使用になる前に必ずお読みください。

1.1　マニュアルについて

本マニュアルでは、MW2201-B の機能、および取扱方法について説明します。本マニュアルは、以下の章で構成されています。

- 第1章「はじめに」では、マニュアルの内容と本製品の特長について説明します。
- 第2章「操作部および表示部」では、操作部と表示部について説明します。
- 第3章「設置および接続の方法」では、本製品の設置方法、およびケーブル類の接続方法について説明します。
- 第4章「仕様」では、本製品の機能概要について説明します。
- 第5章「注意事項」では、本製品取扱上の注意点について説明します。
- 第6章「トラブルシューティング」では、トラブルが発生した時の対処について説明します。

1.2　製品の特長

- IEEE802.11a/ IEEE802.11b/ IEEE802.11g/ IEEE802.11n に準拠しており、最大 300MHz の高速通信を行うことができます。
- MIMO（Multiple-Input Multiple-Output）方式を採用しており、安定かつ高速な通信を行うことができます。
- LED で本製品の状態（電源状態、通信状態、無線状態）を確認することができます。
- 本製品は PoE（Power over Ethernet）給電装置からの電力供給により動作させることができます。（ただし、ネットワーク機器側との通信速度は最大 100Mbps となります。）また、別売の専用電源アダプタ（型番 CVY1212C-SO434Z）を使用することにより、商用電源で動作させることができます。
- 本製品には盗難防止用のため、鍵を装着しています。
- 自動チャネル選択機能を有しており、自動的に無線電波の干渉の少ないチャネルを選択します。
- 無線電波の出力を可変することができます。

1.3 装置の構成

本製品の構成を以下に示します。品物が揃っているか、破損していないかを確認してください。万一、品物が不足している場合や破損している場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

構成品一覧

構成品	数量	記事
MW2201-B 本体	1台	
アンテナ（2.4GHz 用）	2本	
アンテナ（5GHz 用）	2本	
本体固定用ネジ	4本	天井面／壁面設置用
鍵	2個	
無線ステッカー※2	1枚	
ゴム足	4個	横置き設置用
安全にお使いいただくために	1冊	

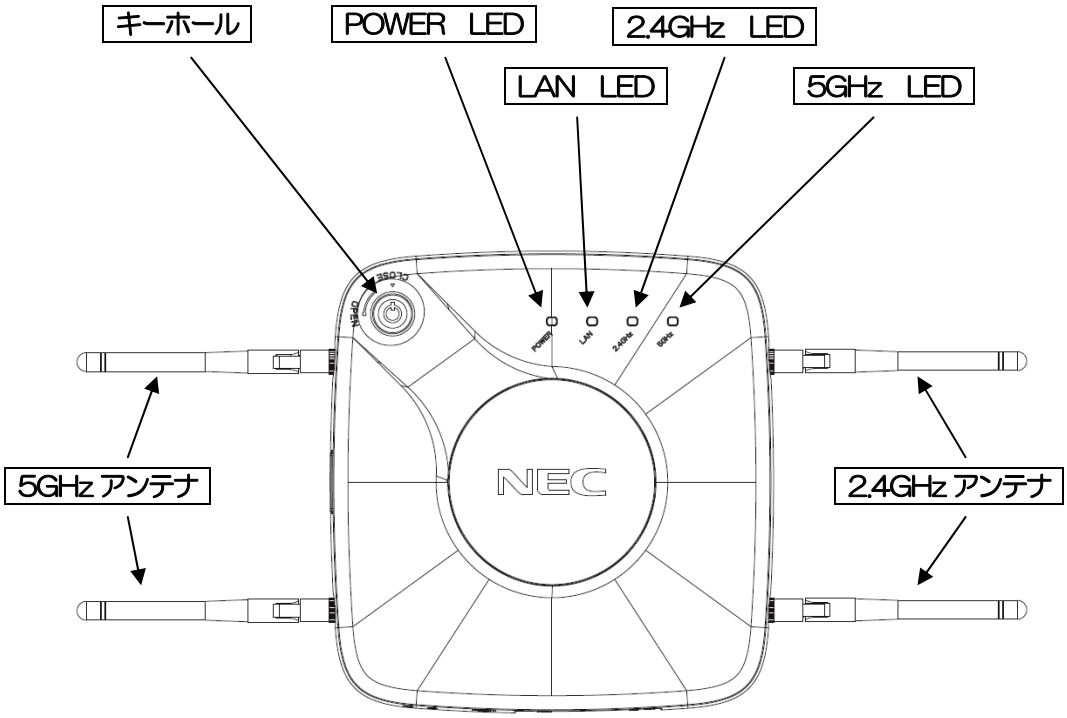
※1：本製品には、電源アダプタは付属されておりません。
※2：無線 LAN 機器に関する注意事項が記載してあります。本製品の設置場所の近くにお貼りください。

別売品

構成品	数量	記事
MW2201-B-Ad （型番 CVY1212C-SO434Z）	1個	MW2201-B 専用電源アダプタ

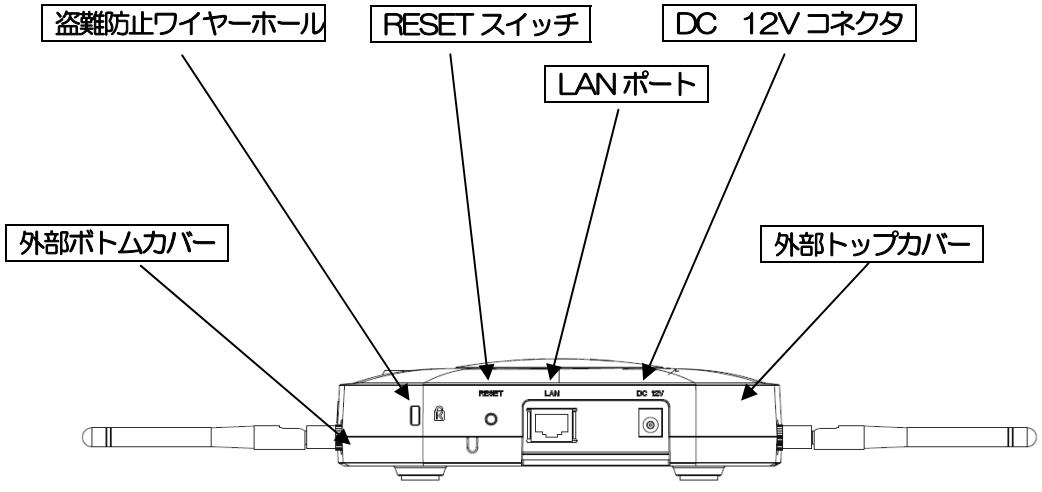
第2章　操作部および表示部

2.1　MW2201－B　天面図、側面図



※出荷時にはアンテナは取り付けられておりません。

天面図



側面図

■MW２２０１－B　本体 LED の名称、および働きを説明します。

名称	色	LED 状態	動作状態
POWER　LED	－	緑点灯 赤点灯 消灯	電源が投入されています。 正常に起動していません。 電源が切れています。
LAN　LED	緑	点灯 点滅 消灯	LAN インタフェースのリンクが確立しています。 LAN インタフェースでデータの送受信をしています。 LAN インタフェースのリンクが確立していません。
2.4GHz　LED	緑	点灯 点滅 消灯	2.4GHz 帯の無線 LAN を利用可能です。 2.4GHz 帯でデータの送受信をしています。 2.4GHz 帯の無線 LAN を利用することができません。
5GHz　LED	緑	点灯 点滅 消灯	5GHz 帯の電波を利用可能です。 5GHz 帯でデータの送受信をしています。 5GHz 帯の無線 LAN を利用することができません。

■MW２２０１－B　本体各部の名称、および働きを説明します。

名　称	表　示	機能説明
キーホール	OPEN-CLOSE	添付の鍵を差し込み OPEN まで回すと、鍵を開けることができます。
2.4GHz アンテナ	2.4GHz	2.4GHz 用アンテナコネクタです。付属の 2.4GHz 用アンテナを取り付けて使用します。
5GHz アンテナ	5GHz	5GHz 用アンテナコネクタです。付属の 5GHz 用アンテナを取り付けて使用します。
LAN ポート	LAN	ハブやルータなどのネットワーク機器と接続します。本ポートは AUTO-MDI に対応していますので、LAN ケーブルの種類（ストレート／クロス）に関わらず接続することができます。 また、別売の給電装置を使用すると LAN ケーブルから電力を供給しますので、電源アダプタは不要となります。 注意：PoE 給電装置を使用する場合には、IEEE802.3af および IEEE802.3at 準拠の給電装置をご使用ください。
RESET スイッチ	RESET	本製品の再起動や初期化（工場出荷設定）を行います。 ５秒以内：本製品を再起動させます。 ５秒以上：各設定を工場出荷状態に戻します。
DC 12V コネクタ	DC 12V	別売の電源アダプタを接続することで、商用電源で動作します。 注意：PoE 給電装置を使用する場合には、本コネクタには電源アダプタのプラグを差し込まないでください。電源アダプタを接続したまま使用すると、LAN ケーブルから電力が供給されません。
盗難防止 ワイヤーホール	－	市販のセキュリティワイヤーを本ホールに差し込むことにより、盗難防止を図れます。

第3章　設置および接続の方法

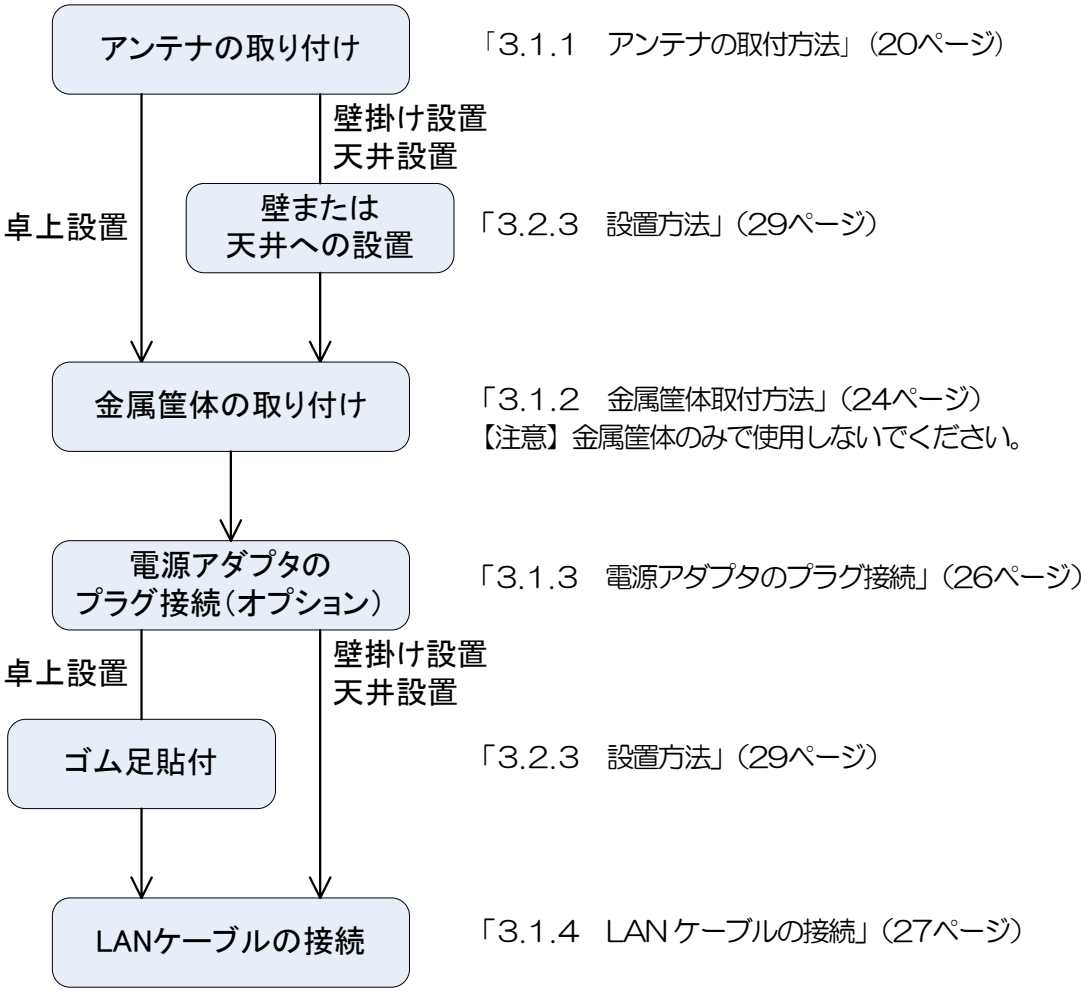
本製品を設置する前に以下のものを準備してください。

・準備するもの：MW2201-B 本体
アンテナ（2.4GHz 用）　２本（添付品）
アンテナ（5GHz 用）　２本（添付品）
鍵　１個（添付品）
本体固定用ネジ　４本（添付品）※1
ゴム足　４個（添付品）※2
3mm プラスドライバー

※1：壁掛け設置、天井設置時に使用
※2：卓上設置時に使用

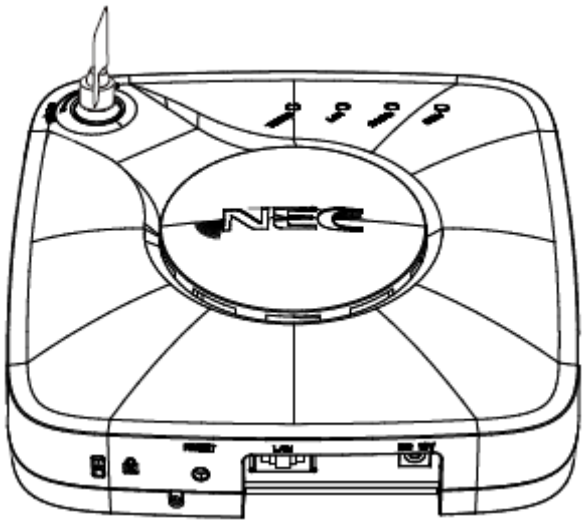
3.1　設置手順

本製品の設置方法（卓上設置、壁掛け設置、天井設置）により設置手順が異なります。以下を参考に正しく作業を行ってください。

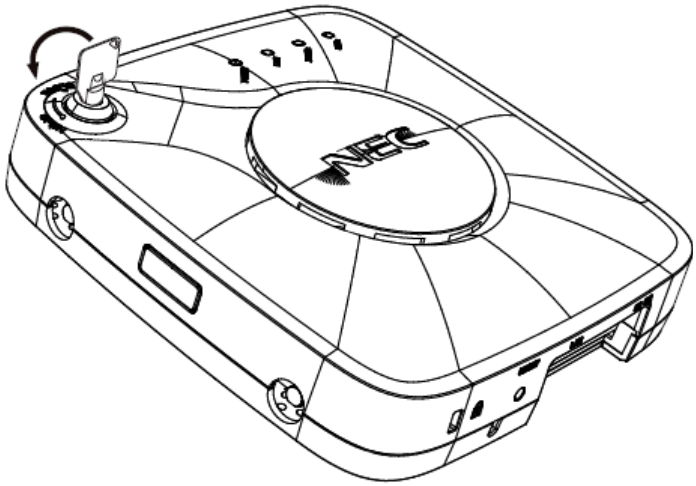


3.1.1　アンテナの取付方法

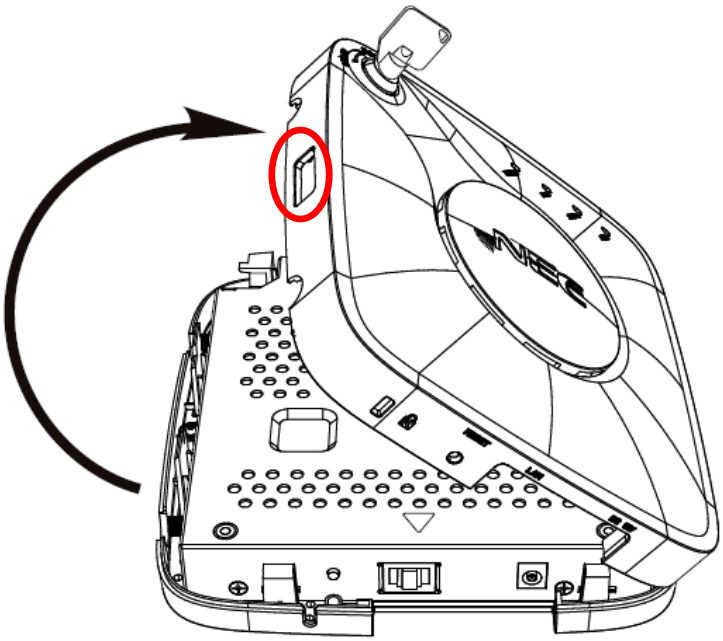
（1）添付の鍵をキーホールに差し込みます。



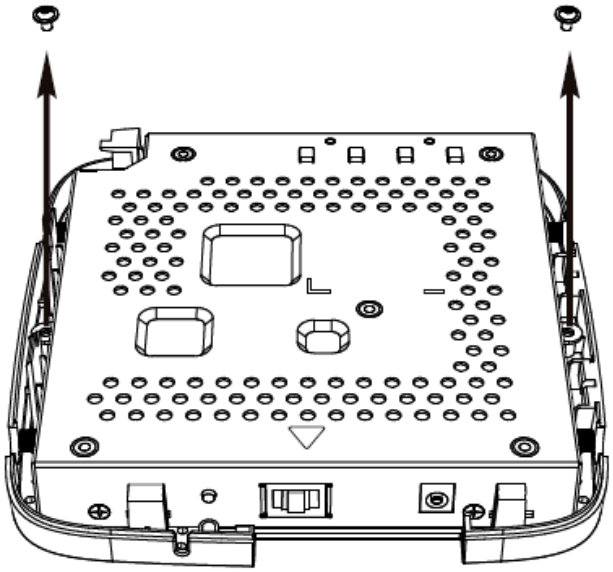
（2）鍵を OPEN 側（反時計回り）に回します。



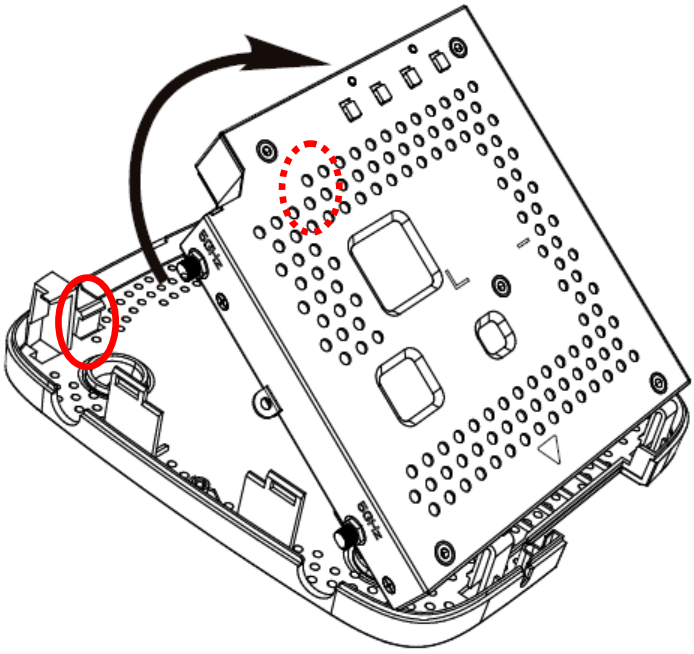
（3）赤丸部分のボタンを指で押しながら、外部トップカバーを開けて、カバーを外します。



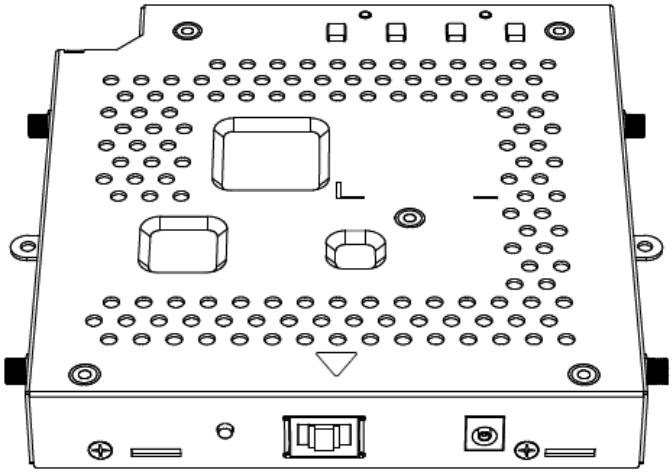
（4）カバーを外すと金属筐体が現れますので、外部ボトムカバーに固定している２箇所のネジを外します。このネジはなくさないように注意してください。



（5）金属筐体を固定している赤丸部分のつめを外し、金属筐体を起こします。

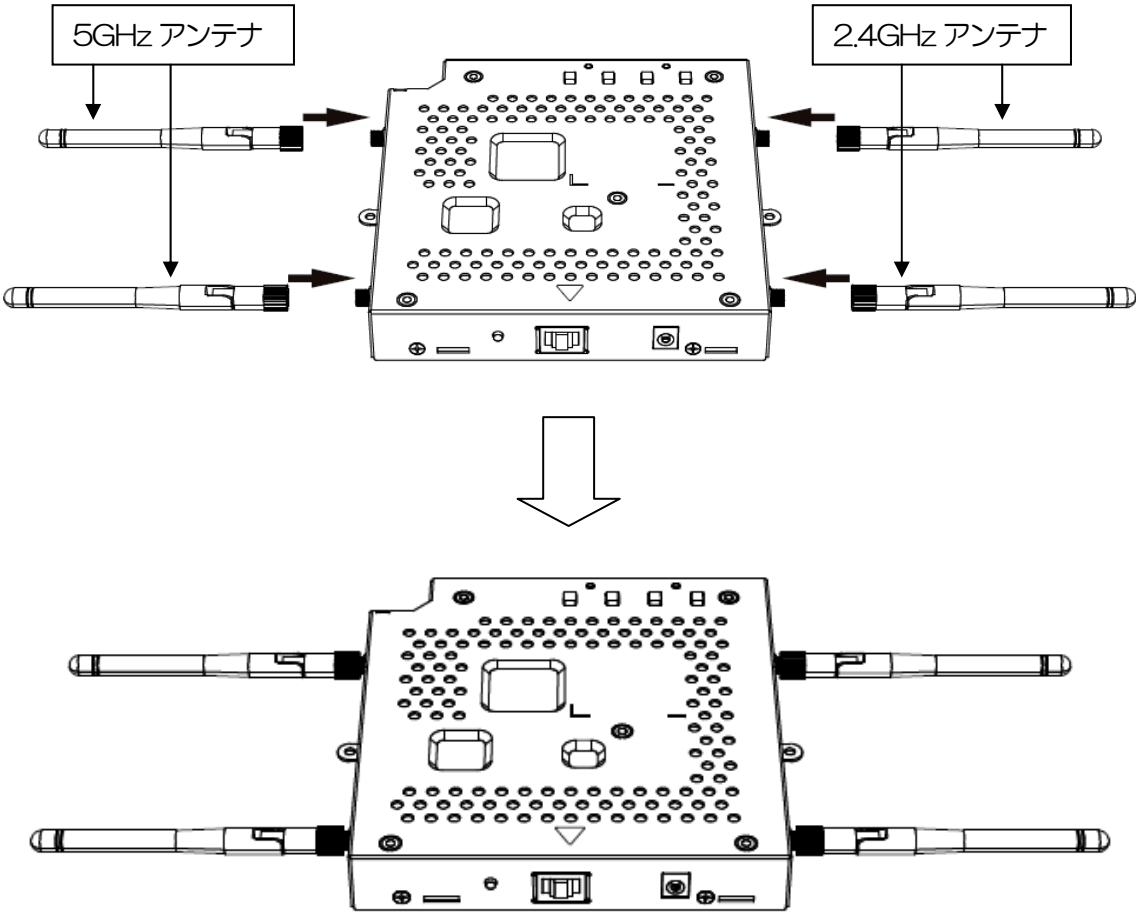


（6）金属筐体を取り出します。



【注意】金属筐体は絶対に開けないでください。

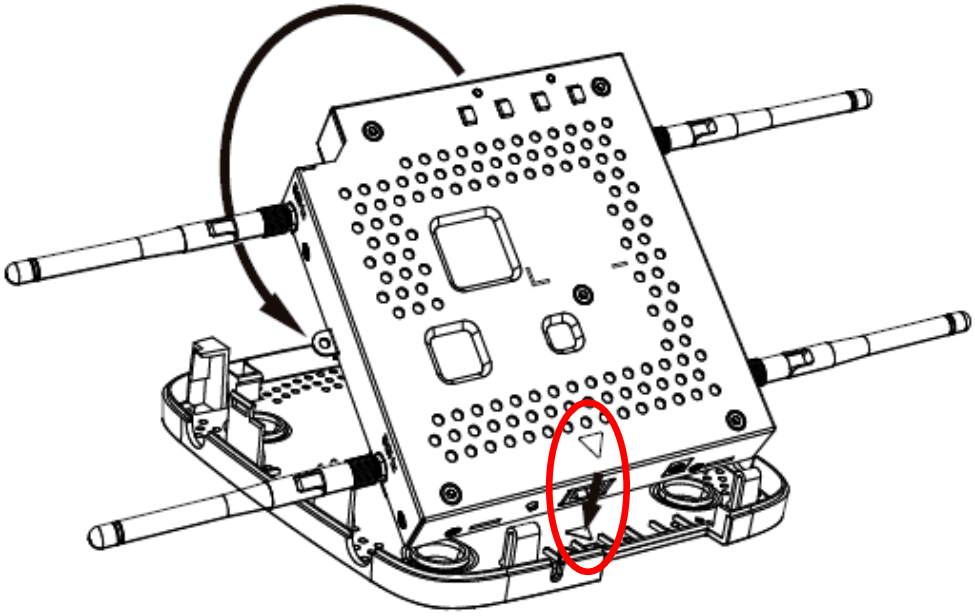
（7）金属筐体のアンテナコネクタ（5GHz、2.4GHz）にアンテナをそれぞれ取り付けます。
その際、アンテナコネクタには手を触れないでください。



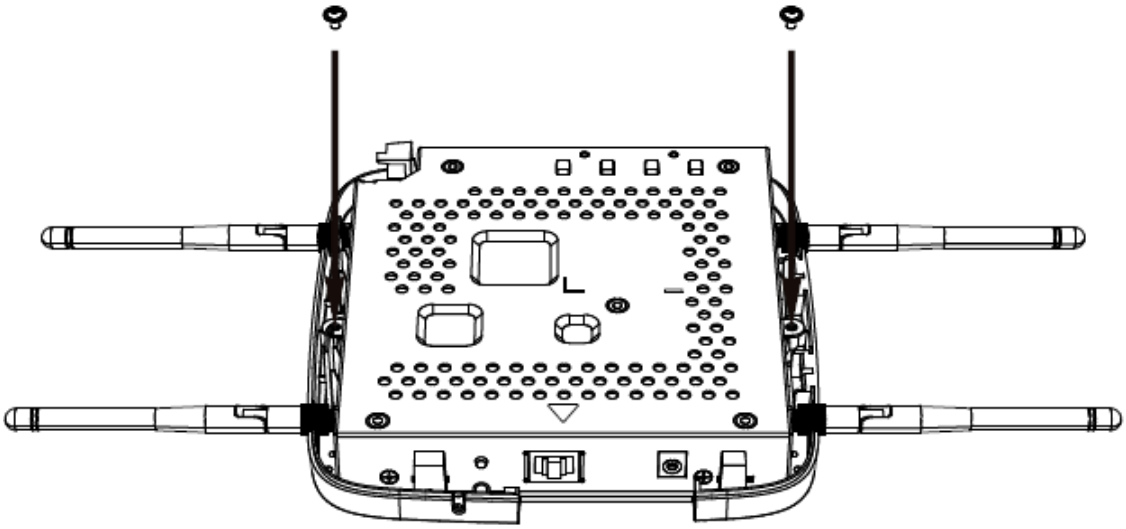
【注意】本製品の電源を入れたままアンテナを接続すると、故障の原因となることがあります。

3.1.2　金属筐体取付方法

（1）アンテナを取り付けた金属筐体を外部筐体に取り付けます。その際、金属筐体と外部筐体の▼マークが合う向きで取り付けてください。

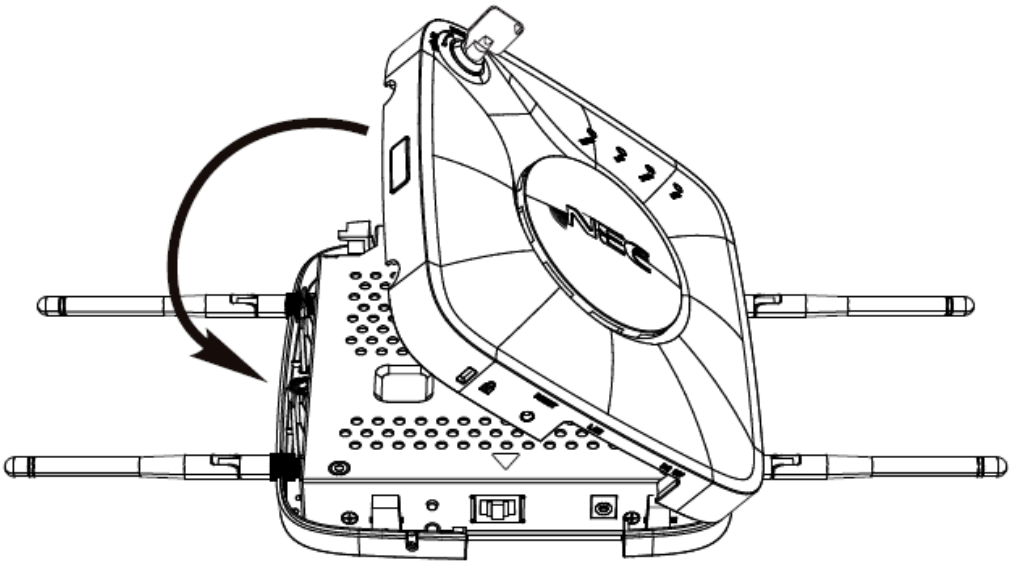


（2）金属筐体を外部ボトムカバーに取り付けたら、「3.1.1　アンテナの取付方法」の（4）（21 ページ）で外したネジ２本で金属筐体を外部ボトムカバーに固定します。

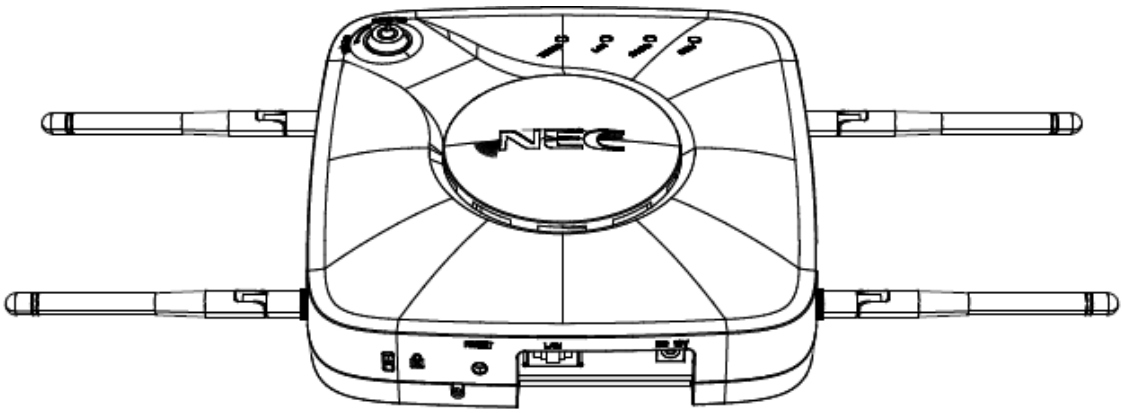


（3）外部トップカバーの向かって右側の突起を外部ボトムカバーのロック部分にはめ込み、図のように外部トップカバーを取り付けます。

【注意】本製品を別売の電源アダプタで動作させる場合、外部トップカバーを取り付ける前に「3.1.3　電源アダプタのプラグ接続」（26ページ）を必ず実行してください。



（4）鍵をCLOSE側（時計回り）に回して、外部トップカバーをロックします。最後に鍵をキーロックから外してください。



【注意】鍵は、CLOSE側まで回さないと外せません。

3.1.3 電源アダプタのプラグ接続

⚠注意

本製品を商用電源で動作させる場合は、必ず専用の電源アダプタ MW2201-B-Ad（型番：CVY1212C-SO434Z）を使用してください。故障の原因となりますので、電源アダプタは本製品以外には使用しないでください。

また、電源アダプタをコンセントに長い間差し込んだままにしておくと、電源アダプタやコンセントの絶縁物の表面にほこりや水分が付着して導電路が形成され、絶縁が劣化して火災に至る原因となることがあります（トラッキング現象）。

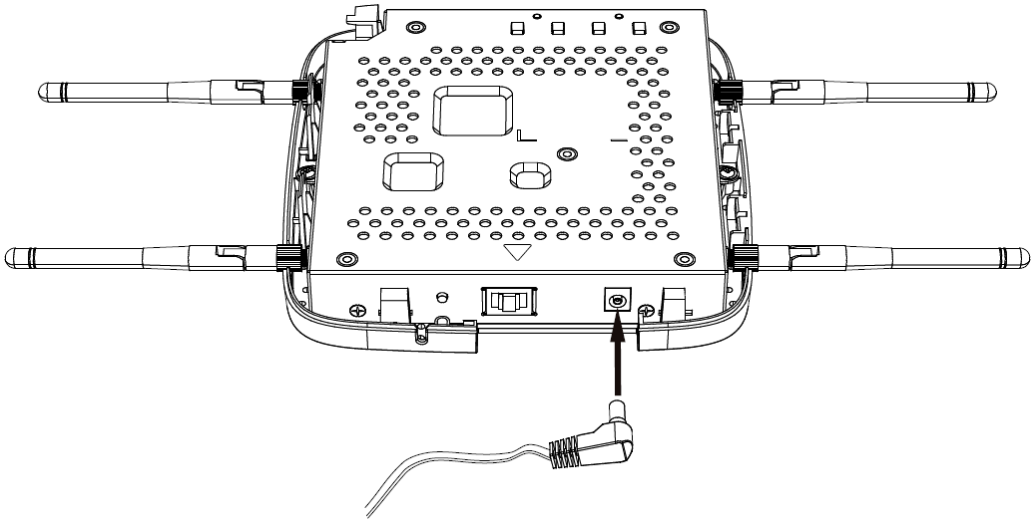
コンセントの周りにほこりをためないように清掃したり、電源アダプタがしっかりと差し込まれているか半年から一年に一回は、確かめてください。

本製品を長期間使用しない場合は、電源アダプタをコンセントから抜いてください。

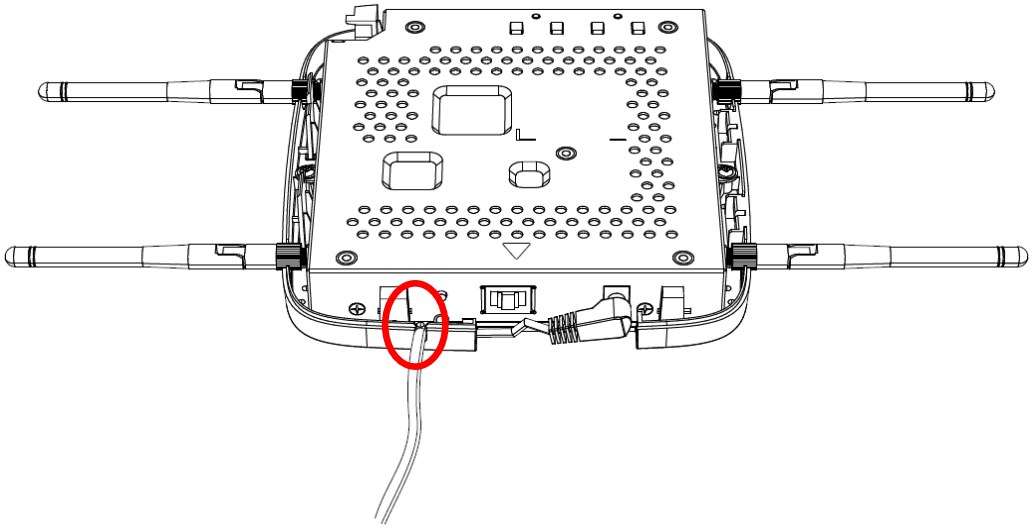
本製品を別売の電源アダプタで動作させる場合、外部トップカバーに取り付ける前に以下のように電源アダプタのケーブルを配線し、プラグを接続してください。

【注意】本製品に PoE 給電装置を接続する場合、電源アダプタのプラグは本製品に接続しないでください。

（1）電源アダプタのプラグを金属筐体の電源コネクタに接続します。

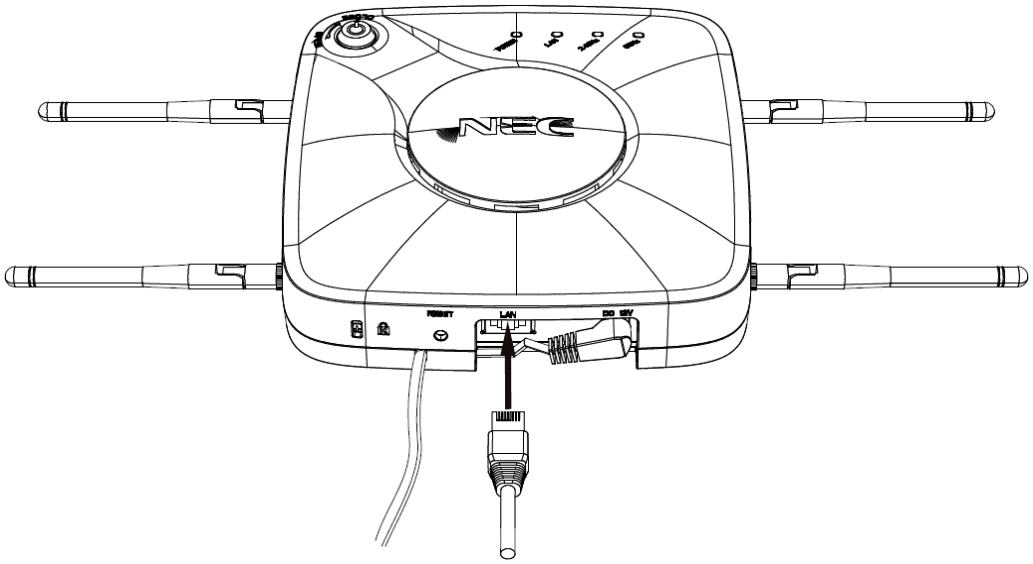


（2）電源アダプタのケーブルを以下の図のように配線し、赤丸部の外部ボトムカバーの溝を通します。このあとは、「3.1.2　金属筐体取付方法」の（3）以降の手順に沿って外部トップカバーを取り付けてください。



3.1.4　LANケーブルの接続

LAN ケーブルは以下のように本製品の LAN ポートに接続してください。尚、LAN ケーブルはカテゴリ５以上のものをご使用ください。



3.2 設置

3.2.1 環境条件

温度：0～40℃
湿度：25～85%（非結露）

3.2.2 設置場所

設置は MW2201-B の動作に影響を及ぼすおそれがある場所を避けて、適切な場所を選んでください。

⚠注意

本製品は以下の場所に設置しないでください。本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく恐れがあります。

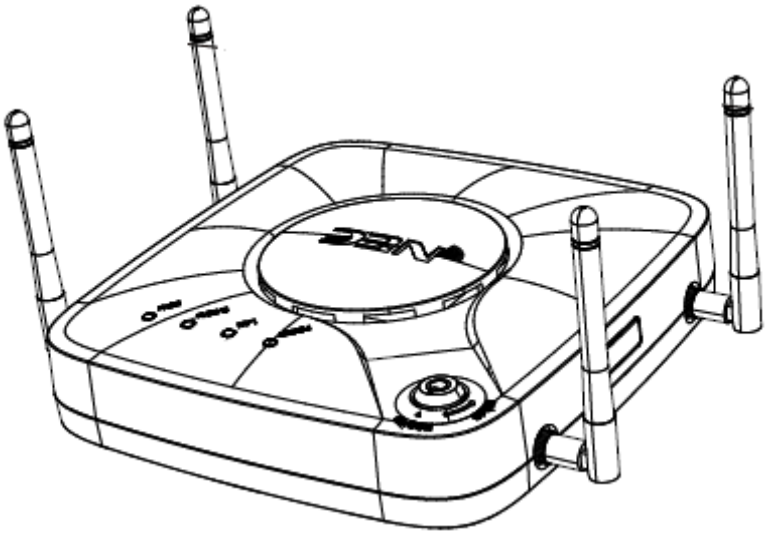
- 水や薬品等液体のかかるところ
- ほこりや塵の入るところ
- 温度・湿度環境が不適切なところ
- 通気性の悪いところ
- 無線機やテレビなど電磁波や磁気の影響を受けるところ
- 不安定なところ
- 本製品の周囲に１０ｃｍ以上の空間がないところ

3.2.3 設置方法

本製品の設置方法には、卓上設置、壁掛け設置、天井設置があります。設置する場所に合わせて適切な方法で本製品を設置してください。

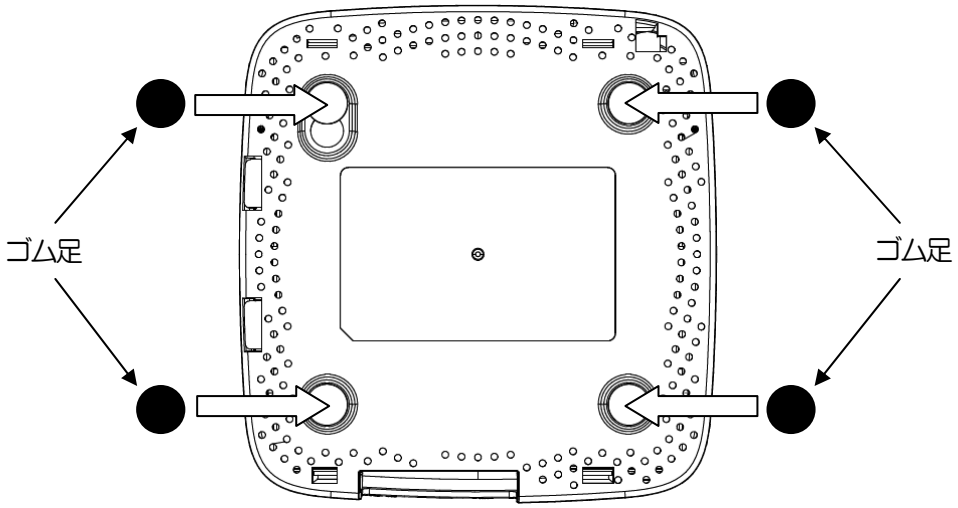
■ 卓上設置

卓上設置は、テーブル等の安定した場所に設置する方法です。本製品を卓上設置で使用される場合は、以下を参考にしてゴム足を取り付けてください。



＜ゴム足の取付方法＞

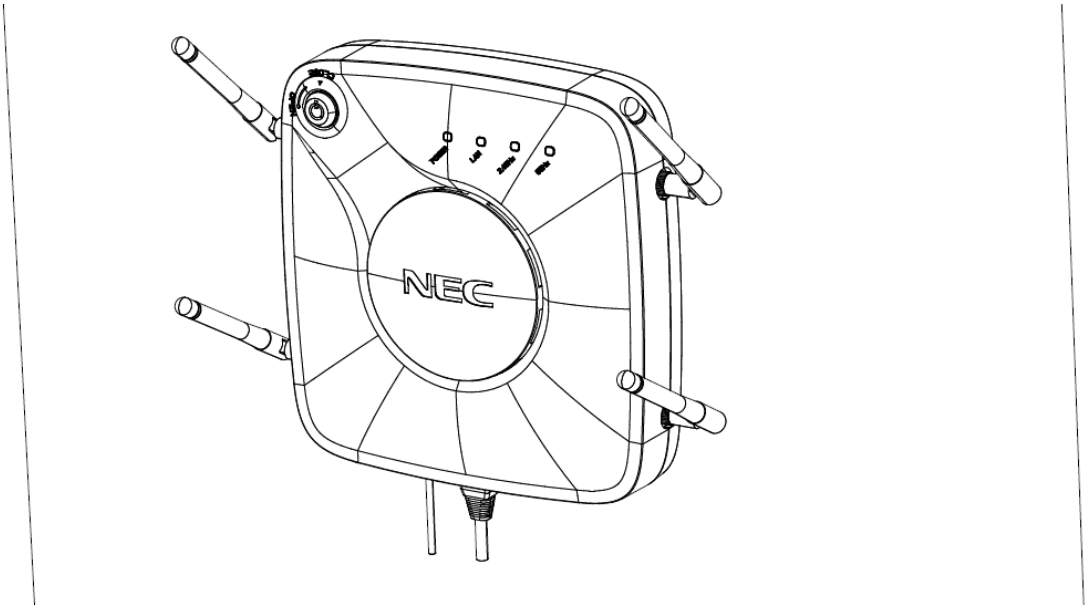
本製品を卓上設置する場合は、添付のゴム足を外部ボトムカバーの底面に貼り付けます。



■ 壁掛け設置

壁掛け設置は、添付の本体固定ネジを使用して、壁に固定する方法です。設置の際は本製品の電源コネクタや LAN ポートは下側になるように設置してください。以下に壁掛け設置例を示します。

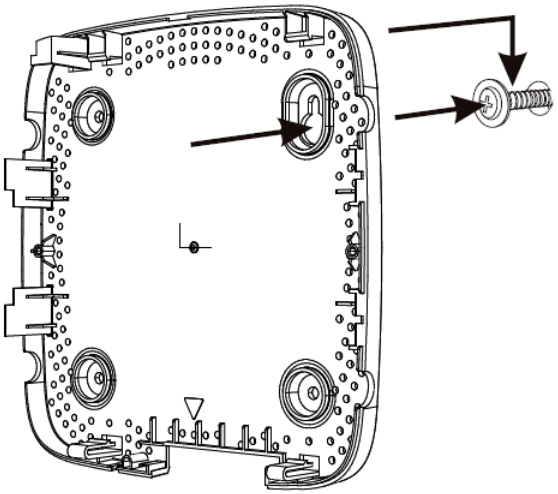
【注意】本製品を取り付ける壁面の強度が、本製品の重量に十分対応できるかをあらかじめ確認してください。壁面素材によっては、取り付け強度が十分に確保できない場合がありますので、ご注意ください。取り付け強度が確保できない場合は、本製品を十分な強度を有する補助板等に取り付け、壁面に適切な処置を施したうえで、取り付けを行ってください。また、落下防止のため、ネジ止めは正しく行ってください。



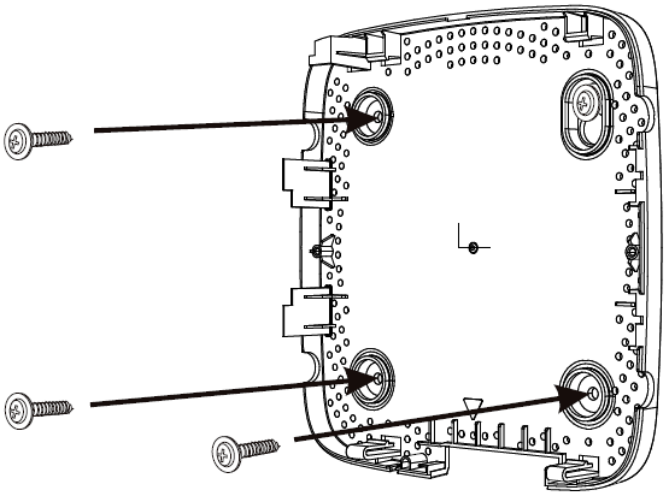
＜壁掛け設置手順＞

【注意】本製品を壁に取り付ける前に、「3.1.1　アンテナの取付方法」の作業を完了させておいてください。

①添付の本体固定用ネジの 1 本を壁面にねじ込みます。このとき、ネジは最後まで締め込まないで、壁面から 3～4mm の隙間を空けて締め込みます。
②ねじ込んだネジに外部ボトムカバーの底面にあるねじ穴に本体固定用ネジを入れ込みます。



③添付の本体固定用ネジの残り 3 本を 3 箇所のねじ穴を通して、入れ込みます。本製品がガタつかないようしっかり締めてください。

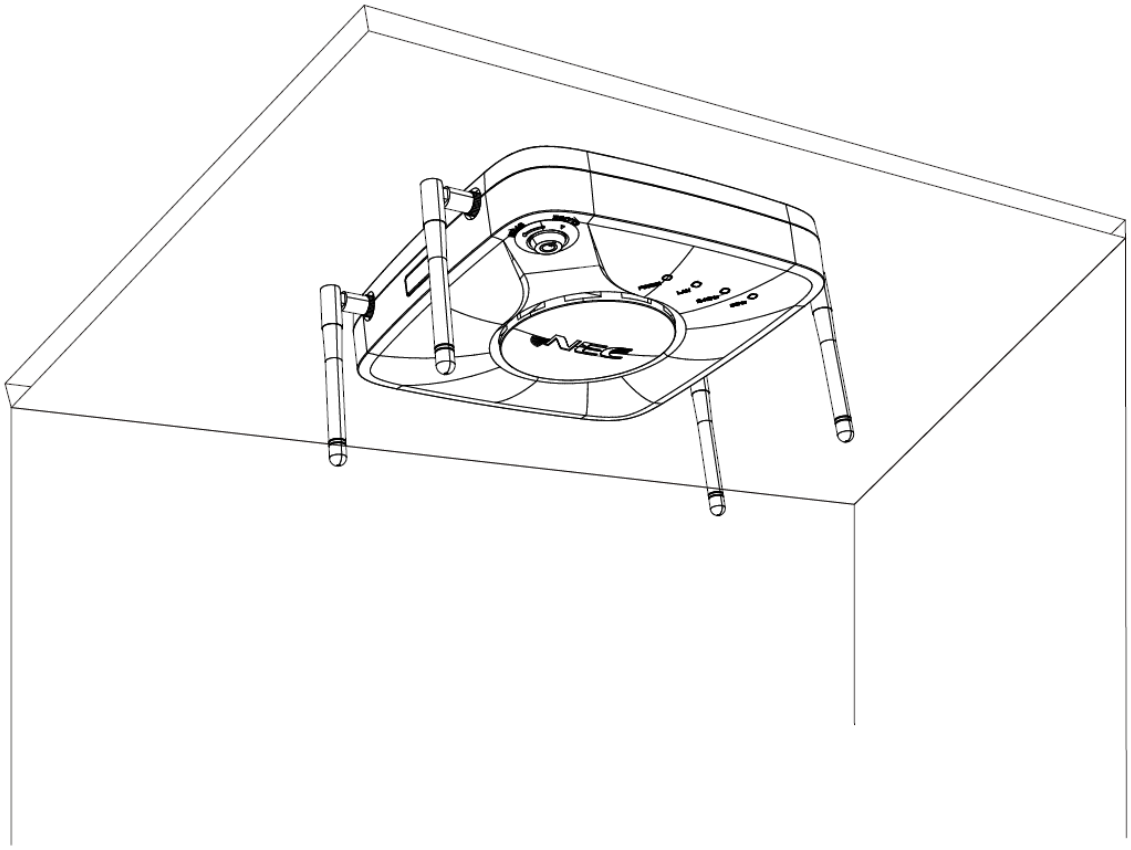


④「3.1.2　金属筐体取付方法」（24ページ）に従って、金属筐体を取り付けてください。

■ 天井設置

本製品を天井に設置することにより、無線電波が卓上設置や壁掛け設置より飛びやすくなるため、より広範囲での無線通信が可能になります。以下に天井設置例を示します。

【注意】本製品を取り付ける天井の強度が、本製品の重量に十分対応できるかをあらかじめ確認してください。天井素材によっては、取り付け強度が十分に確保できない場合がありますので、ご注意ください。取り付け強度が確保できない場合は、本製品を十分な強度を有する補助板等に取り付け、天井に適切な処置を施したうえで、取り付けを行ってください。また、落下防止のため、ネジ止めは正しく行ってください。



＜天井設置手順＞

【注意】本製品を天井に取り付ける前に、「3.1.1　アンテナの取付方法」（20ページ）の作業を完了させておいてください。

基本的には壁掛け設置と同じ手順となります。ただし、天井面への設置となりますので、安定した足場を確保して、安全に作業を行えるように配慮してください。転倒や落下などには十分注意してください。

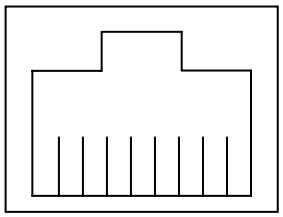
第4章　仕様

4.1　MW2201－B仕様

項　目		仕　様
無線LAN	規格	IEEE802.11a/IEEE802.11b/IEEE802.11g/ IEEE802.11n
	セキュリティ	WEP/WPA/WPA2/WPA-PSK/WPA2-PSK/ EAP-TLS/EAP-TTLS/EAP-PEAP
	WMM※1	サポート
	Multi SSID	2.4GHz 帯：最大８ 5GHz 帯：最大８（AP モード）
	ステルス機能	サポート
	自動チャネル選択	サポート
	送信電力制御	サポート
有線LAN	コネクタ形状	RJ-45注1
	インタフェース	IEEE802.3（10BASE-T） IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3ab（1000BASE-T）
	モード設定	Auto/10M Half/10M Full/100M Half/100M Full /1000M Full
	PoE 対応仕様	IEEE802.3af、IEEE802.3at
動作環境	温度条件	0～40℃
	湿度条件	25～85%（非結露）
使用電源	電源アダプタ 使用時	DC12V±5%（DC 12V コネクタ使用）
	PoE 使用時	DC36～57V（LAN ポート使用）
消費電力		8W 以下
外形寸法		約 176(W)×184(D)×43(H)mm（突起物を含まず）
質量		940g 以下（本体のみ）

※1：Wi-Fi Multimedia

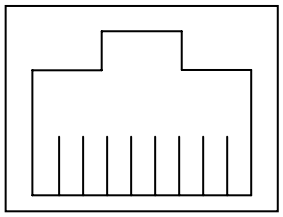
注1）有線LAN インタフェースピンアサイン
（10BASE-T/100BASE-TX でMDI-X のとき）



８７６５４３２１

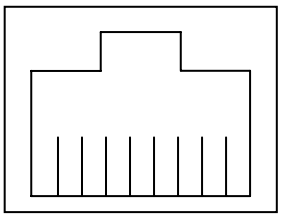
ﾋﾟﾝ番号	信号名	I／O	備考
1	RX＋	I	受信データ＋
2	RX－	I	受信データ－
3	TX＋	O	送信データ＋
4	－	－	－
5	－	－	－
6	TX－	O	送信データ－
7	－	－	－
8	－	－	－

（10BASE-T/100BASE-TX でMDI のとき）



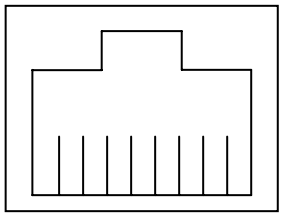
ﾋﾟﾝ番号	信号名	I／O	備考
1	TX＋	O	送信データ＋
2	TX－	O	送信データー
3	RX＋	I	受信データ＋
4	―	―	―
5	―	―	―
6	RX－	I	受信データー
7	―	―	―
8	―	―	―

（1000BASE-T でMDI-X のとき）



ﾋﾟﾝ番号	信号名	I／O	備考
1	TP1＋	I/O	－
2	TP1－	I/O	－
3	TP0＋	I/O	－
4	TP3＋	I/O	－
5	TP3－	I/O	－
6	TP0－	I/O	－
7	TP2＋	I/O	－
8	TP2－	I/O	－

（1000BASE-T でMDI のとき）



ﾋﾟﾝ番号	信号名	I／O	備考
1	TP0＋	I/O	－
2	TP0－	I/O	－
3	TP1＋	I/O	－
4	TP2＋	I/O	－
5	TP2－	I/O	－
6	TP1－	I/O	－
7	TP3＋	I/O	－
8	TP3－	I/O	－

第5章　注意事項

5.1　電源の再投入について

電源投入後、何らかの理由により電源断とし、再び電源を投入する場合は、再投入まで５秒以上の間隔を開けてください。間隔を空けずに電源を投入された場合、本製品が誤動作する可能性があります。

5.2　装置の設置について

⚠注意

本製品の上面や側面等に物を置いたり、積み重ねたりして密閉状態にならないように設置してください。また、縦置きにしないでください。

本製品の通気孔をふさいだり、縦置きにすると内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

5.3　長期保管について

本製品には、アルミ電解コンデンサを使用しています。アルミ電解コンデンサは、長時間通電せずに保管すると性能が低下します。長時間ご使用にならない場合でも、安定してご使用いただくために１年に２時間程度は、電源を投入し通電してください。

第6章　トラブルシューティング

この章では、MW2201-B の運用管理上でトラブルが起こった場合の対処方法を説明します。使用中に動作がおかしい等のトラブルが発生した場合には、まず、以下の表を参照してチェックしてください。

なお、トラブルが解消されない場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

6.1　表示ランプの状態によるチェックポイント

（1）POWER　LED が消灯している。（電源アダプタで動作の場合）

考えられる原因	チェックポイント
コンセントに電気が供給されていない。	他の電気製品を接続し、コンセントに電気が供給されているか確認してください。配電盤が有る場合は配電盤のブレーカーなども確認してください。
電源アダプタが正しく接続されていない。	・電源アダプタが正しくコンセントに接続されているか確認してください。 ・電源アダプタが正しく本製品に接続されているか確認してください。
本製品が故障している。	お買い求めの販売店にご連絡ください。

（2）POWER　LED が消灯している。（PoE 給電装置を接続している場合）

考えられる原因	チェックポイント
給電されていない。	PoE 給電装置をお買い求めになった販売店にご相談ください。
LAN ケーブルが正しく接続されていない。	・PoE 給電装置および本製品の LAN ポートに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・PoE 給電装置から給電されていない。
本製品が故障している。	お買い求めの販売店にご連絡ください。

（3）LAN　LED が消灯している。

考えられる原因	チェックポイント
ネットワーク機器とのリンクが確立されていない。	・ネットワーク機器および本製品の LAN ポートに LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・接続している LAN ケーブルは規格（カテゴリ５以上）を満足しているか、確認してください。 ・接続している LAN ケーブルにショートや断線などがないか確認してください。 ・ネットワーク機器は正常に動作しているか（電源は投入されているか等）確認してください。 ・ネットワーク機器の LINK　LED は正しく点灯しているか確認してください。
本製品が故障している。	お買い求めの販売店にご連絡ください。

（4）2.4GHz　LED が消灯している。

考えられる原因	チェックポイント
2.4GHz が未使用の設定になっている。	CLI コマンドで 2.4GHz の無線設定が有効になっているか確認してください。 （コマンドラインインタフェース（CLI）マニュアル：NWD-146660-001 を参照してください）
本製品が故障している。	お買い求めの販売店にご連絡ください。

（5）5GHz　LED が消灯している。

考えられる原因	チェックポイント
5GHz が未使用の設定になっている。	CLI コマンドで 5GHz の無線設定が有効になっているか確認してください。 （コマンドラインインタフェース（CLI）マニュアル：NWD-146660-001 を参照してください）
本製品が故障している。	お買い求めの販売店にご連絡ください。

お問い合わせ先

本製品が動作しなくなったり、何らかのトラブルが発生した場合には、「第6章　トラブルシューティング」を参考にチェックしてください。

なお、トラブルが解消されない場合のお問い合わせは、お買い求めの販売店へお願いいたします。

ライセンスについて

OpenSSL License

==========

Copyright (c) 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)

ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

==========

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

==========

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

This can be in the form of a textual message at program startup orin documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the

   Documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

   The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

BusyBox License

==========

BusyBox is distributed under version 2 of the General Public License (included in its entirety, below). Version 2 is the only version of this license which this version of BusyBox (or modified versions derived from this one) may be distributed under.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it
if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original
authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program"
means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in
the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program).Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete
machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or, distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code.
(This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose

any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it
under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
`Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

ACCESS POINT

MW2201-B

ユーザーズマニュアル

（取扱説明書）

NWD-142377-001

Copyright© 2012 NEC Corporation
NEC Magnus Communications, Ltd.
平成24年　9月　第1版

日本電気株式会社
東京都港区芝5丁目7番1号

（禁無断複製）